

日本放射線科専門医会・医会 CT/MRI 灌流画像の標準化に関するワーキンググループ

第五回会議 議事録

日本磁気共鳴医学会研究プロジェクト 急性期脳梗塞における MRI 検査の標準化に関する研究

平成 17 年度第一回会議 議事録

平成 17 年 4 月 9 日 12 時～14 時 パシフィコ横浜

出席者：井田正博、宇都宮英綱、工藤與亮、黒岩大三、興梠征典、佐々木真理、高木亮、原田雅史、林田佳子、平井俊範、前田正幸、松井美詠子、松下明、百島祐貴、山田恵、渡辺嘉之
(アイウエオ順、敬称略)

1) 昨年度の活動と今年度の計画について

佐々木より平成 16 年度日本放射線科専門医会・医会ワーキンググループ(WG)の成果報告書について報告があった。また、平成 17 年度専門医会 WG、平成 17 年度日本磁気共鳴医学会研究プロジェクト の組織および計画について説明があった。専門医会 WG では、解析ソフトの相互検証、実践ガイドラインの策定を引き続き進めていき、磁気共鳴医学会プロジェクトでは急性期脳梗塞の拡散強調画像に関する共同研究を行って質の高い evidence making をめざすことで同意を得た。また、後者では企業分科会を別途組織し、用語の統一などについて検討していくこととなった。企業分科会長は百島先生にお願いし、準備を進めて頂くこととした。

2) 中枢神経系の拡散強調画像の標準化について

佐々木より拡散強調画像の表示法・判定法についての標準化を、平井先生・林田先生のご研究を発展させる形で進めていきたい旨の提案があった。平井先生より拡散強調画像の読影法(フィルム、ソフトコピー)による診断能の差異や多施設研究を行う上での課題などについて発表があり、今後の進め方について議論が交わされた。平井先生、山田先生、前田先生、林田先生に研究プロトコルを作成して頂くこととなった。また、拡散強調画像に関する多施設共同研究に適したテーマがあれば、随時提案して頂いて議論することとした。

3) ウェブページについて

百島先生より、用語一覧の公開に向けて準備を進めて頂いている旨報告があった。企業分科会での議論を待ったほうがよいとの意見も出されたが、叩き台という意味でも現時点での用語一覧を公開していく方向で検討することとした。

4) 各社解析画像の検証作業について

工藤先生より進捗状況の報告があった。CT 灌流画像に関して、deconvolution アルゴリズムの差異が急性期脳梗塞の解析結果の変動にどのように影響するかが示された。ノイズに強く遅延効果の影響を受けないアルゴリズムが望ましく、複数のメーカーがそのようなアルゴリズムを採用しつつあることが報告された。MR 灌流画像に関して、山田先生、百島先生、井田先生から提供頂い

たデータの読み込み、解析が一部可能になったことが報告された。未だ各社仕様上の相互障壁があり作業が難航しているとのことで、今後とも引き続き検討を続けて頂くこととなった。

5) 実践的ガイドライン草稿作成について

井田先生、山田先生、渡辺先生より MRI グループの進捗状況の報告があり、草稿が示された。引き続き作業を進めて頂き、推奨レベルの決定やフォーマット・文脈の統一をして頂いた上で、次回の会議をめぐり草稿作成を進めて頂くことになった。

高木先生、黒岩先生より CT グループの進捗状況の報告があり、質の高い科学的根拠が少ないなどの理由で草稿作成が難航していることが報告された。MRI グループの草稿を参考に、現時点での限界を踏まえた専門家の意見を明記する方針で、次回会議を目処に作業を続けて頂くことになった。

6) その他

佐々木より厚生労働省循環器病研究委託費「急性期脳梗塞における CT, MRI 検査の標準化に関する研究」の採択について説明があった。本グループの先生方にはそのまま分担研究者または研究協力者としてご協力頂くことで同意を得た。また、佐々木より今後の成果発表の予定について報告があった。

次回の会議は 6 月東京開催を予定し、Second International Neuroimaging Symposium の会期(6/24-25)、または厚生労働省循環器病研究委託費第一回班会議の会期(未定)することとした。

(文責 佐々木)